

佐賀市広告掲載基準

(趣旨)

- 1 この基準は、佐賀市広告掲載取扱要綱（平成23年9月1日施行。以下「要綱」という。）第3条第3項の規定に基づき、広告掲載基準として定めるものであり、要綱の規定に基づく広告媒体への広告掲載の可否は、この基準に基づき判断するものとする。

(基本的な考え方)

- 2 佐賀市の広告媒体に掲載する広告は、社会的に信用度が高い情報でなければならないため、広告内容及び表現はそれにふさわしい信用性と信頼性を持つてものでなければならない。

(掲載を承認しない広告)

- 3 以下に相当する広告は、掲載を承認しないものとする。
 - (1) 前項の趣旨にかんがみて適切でないもの
 - ア 選挙、政党・政治団体等、政治活動に関連する広告
 - イ 個人、団体等の意見広告及び名刺広告
 - ウ 社会問題についての主義主張や係争中の事件に係る声明広告
 - エ 国内世論が大きく分かれているもの
 - オ 他をひぼう、中傷又は排斥するもの
 - カ 宗教団体による布教推進を主目的とするもの
 - キ 非科学的又は迷信に類するもので、広告を見る者を迷わせたり、不安を与えるおそれのあるもの
 - ク 名誉き損、信用き損、プライバシーの侵害、業務妨害のおそれのあるものや、差別を助長するもの
 - ケ 広告媒体の使用目的等を著しく損なうおそれがあると認められるもの
 - (2) 青少年保護又は取引の安全の観点から適切でないと認められる広告で、次に掲げる業種又は事業者に係るもの
 - ア 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に規定する風俗営業又は風俗関連若しくは類似の業種
 - イ 貸金業法（昭和58年法律第32号）第2条に規定する貸金業
 - ウ 商品先物取引の営業等
 - エ 民事再生法（平成11年法律第225号）及び会社更生法（平成14年法律第154号）の定めにより再生・更生手続を行っている事業者

- オ その他社会問題を起こし、又はそのおそれがある業種や事業者
- (3) 法令等に違反するもの及び違反するおそれがあるもの
- (4) 社会的な観点から適切でないもの
 - ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体及び特殊結社団体などその構成員がその活動のために利用するなど、公序良俗に反する広告
 - イ 性差別、性別による固定的な役割分担又は暴力的行為を助長する表現及び著しく性的感情を刺激する表現を含む広告
- (5) 消費者保護の観点から適切でないもの
 - ア マルチ商法、催眠商法等、悪質商法とみなされるもの
 - イ 将来の利益を誇示したり、元本保証と認識させるような投資信託等の経済行為に関する広告
 - ウ 投機、射幸心をあおったり、内容が虚偽誇大など、過度の宣伝となるもの
 - エ 広告主決定時に本市の指名停止措置を受けているものの広告
- (6) その他
 - ア 皇室関係の写真、紋章等を使用した広告
 - イ 氏名、肖像など本人に無断で使用したもの又は明らかに模倣、盗作などとみなされる表現のもの
 - ウ アマチュアスポーツの選手や各種競技団体等の役員の氏名、写真、推薦文等を使用したもの
 - エ 国土地理院の地図を無断で使用したもの
 - オ あたかも佐賀市が推奨しているような表現のもの
 - カ その他広告掲載することが適切でないと要綱第5条1項に規定する佐賀市広告審査委員会が認めたもの

附則

この基準は、平成23年9月1日から施行する。

附則

この基準は、平成24年2月20日から施行する。